

次項より掲載の「次々期部長選任ルール」に付いては、2022～2023 年度京都部における部則第 4 条第 1 項に基づく、部長及び次期部長の選任について、2023 年 6 月 25 日開催の第 4 回評議会において、当該期の石倉 尚 京都部部長より部則第 4 条 1 項の解釈を明確にしたことについて説明とともに、次期部長選任ルール(特に輪番制に関して)を確立したことについて説明と報告があったものである。

# 次々期部長選任ルール

2023.05.22 石倉 尚

## 1. 部長の選任は次のように定められている

京都部部則より

### 第4条（役員の選任）

#### 1) 部長及び次期部長の選任

3. 次々期部長は、立候補者の中から別に定める推薦委員会の推薦を得たものが就任する。但し、立候補者のない場合は、輪番制の原則に基づき当該年度の部長が推薦したものが就任する。

※推薦委員会も別に定めるとありますが、京都部役員としてはどうでしょう？

## 2. 決定時期は、次期部長就任前6カ月前が理想的である。

## 3. 手順は以下の通りとする

手順1. 9月 立候補を募る（1ヶ月）

手順2. 立候補在りの場合

推薦委員会を定め推薦委員会の推薦を得たものが就任する。

（当該クラブは、次回の輪番を免除する。）

手順3. 立候補なしの場合（10月中旬より）

輪番制の原則に基づき『次々期部長届出書』の提出を求める。

#### ・輪番制の原則

クラブ設立順に部長を輩出する。

ただし、クラブの事情により部長輩出ができない場合は、条件付きで、次年度の該当クラブへ順位を送ることが出来る。

#### ・条件

① 国際投票権のあるクラブの場合（グッドスタンディングクラブでかつ直近3半期の会員数が15名以上のクラブ。2022-23 ロースターP14,P15 参照）

次々期における次期もしくは次々期の部長を輩出しなければならない。

（すなわち2回保留でき、2年の猶予をもって3年半後の部長を輩出する。）

② ①以外の場合

輪番順位は不動とする。

### 第30代京都部部長（2025～2026）

#### ※輪番順位（保留クラブ）

- 1位 洛中
- 2位 エイブル
- 3位 グローバル

#### ※輪番制順位

	設立順位		設立年
4位	12	トゥービー	1997
5位	13	東稜	2004
6位	14	ウエル	2005
7位	15	ZERO	2010
8位	16	フロンティア	2016
9位	17	ブラック	2022
10位	18	沖縄	2023
11位	19	沖縄新風	2023
12位	1	京都	1947
13位	2	バレス	1971
14位	3	ウエスト	1980
15位	4	めいふる	1983
16位	5	キャピタル	1983
17位	6	プリンス	1986
18位	7	ウイング	1987
	8	洛中	1988
	9	エイブル	1990
	10	グローバル	1993
19位	11	トップス	1994